

住民アンケート調査

16

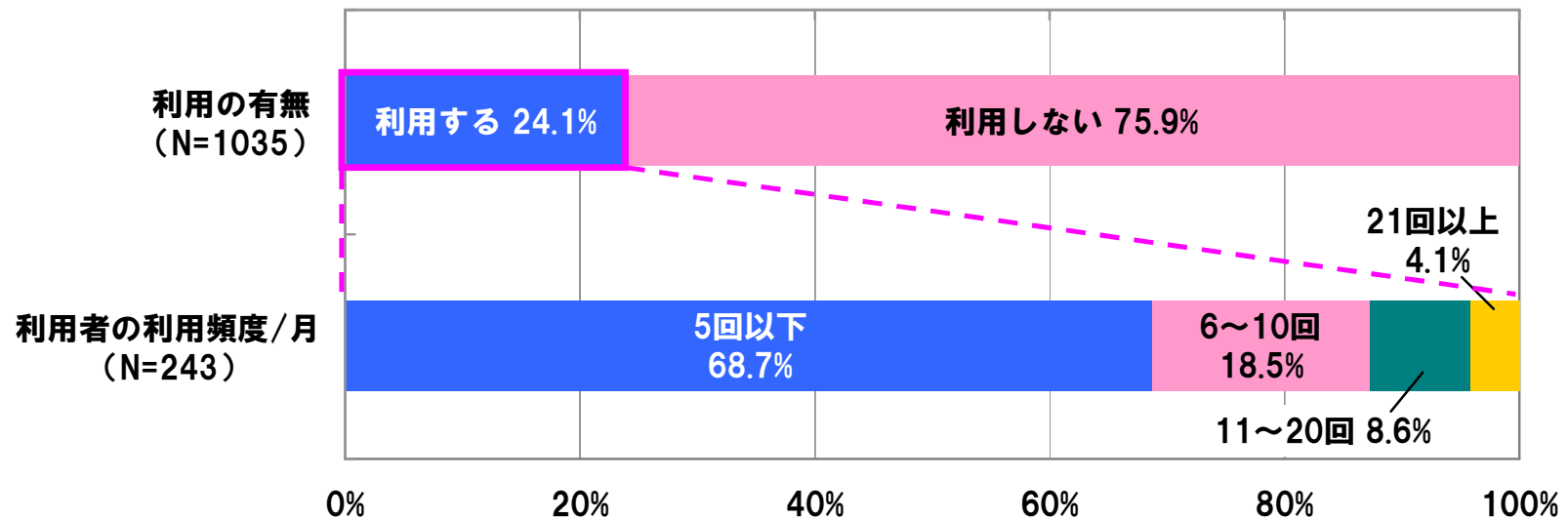
調 査 目 的	日常生活における移動実態やニーズを把握するとともに、バス運行サービスに対する評価やバスサービス維持に対する意向を把握し、次年度以降の実証運行に向けた公共交通計画見直しの基礎資料とする。
調 査 方 法	市内のおよそ15,800世帯の中から3,000世帯を抽出※ 郵送配布・郵送回収 ※諸島地区を除く ※交通不便地区などからも分析に有効な回答数を得るため、町内会ごとに一定の配布部数を設定し、その中で調査対象を無作為に抽出した。さらに、回答は世帯の中でも高齢の方や免許証を持っていないなど、普段から公共交通が必要な方を優先することを文章で伝えており、結果は備前市全体での平均値とはならないため、取扱いには注意が必要である。
調 査 実 施 時 期	2012年9月13日（木）～ 9月25日（火）
回 収 率	40.9%
回 収 票	○西鶴山59 ○香登53 ○伊部235 ○片上104 ○伊里167 ○東鶴山131 ○三石106 ○日生90 ○寒河52 ○吉永81 ○神根66 ○三国48 ○不明36 ＜計1228＞

住民アンケート調査

17

バス利用状況

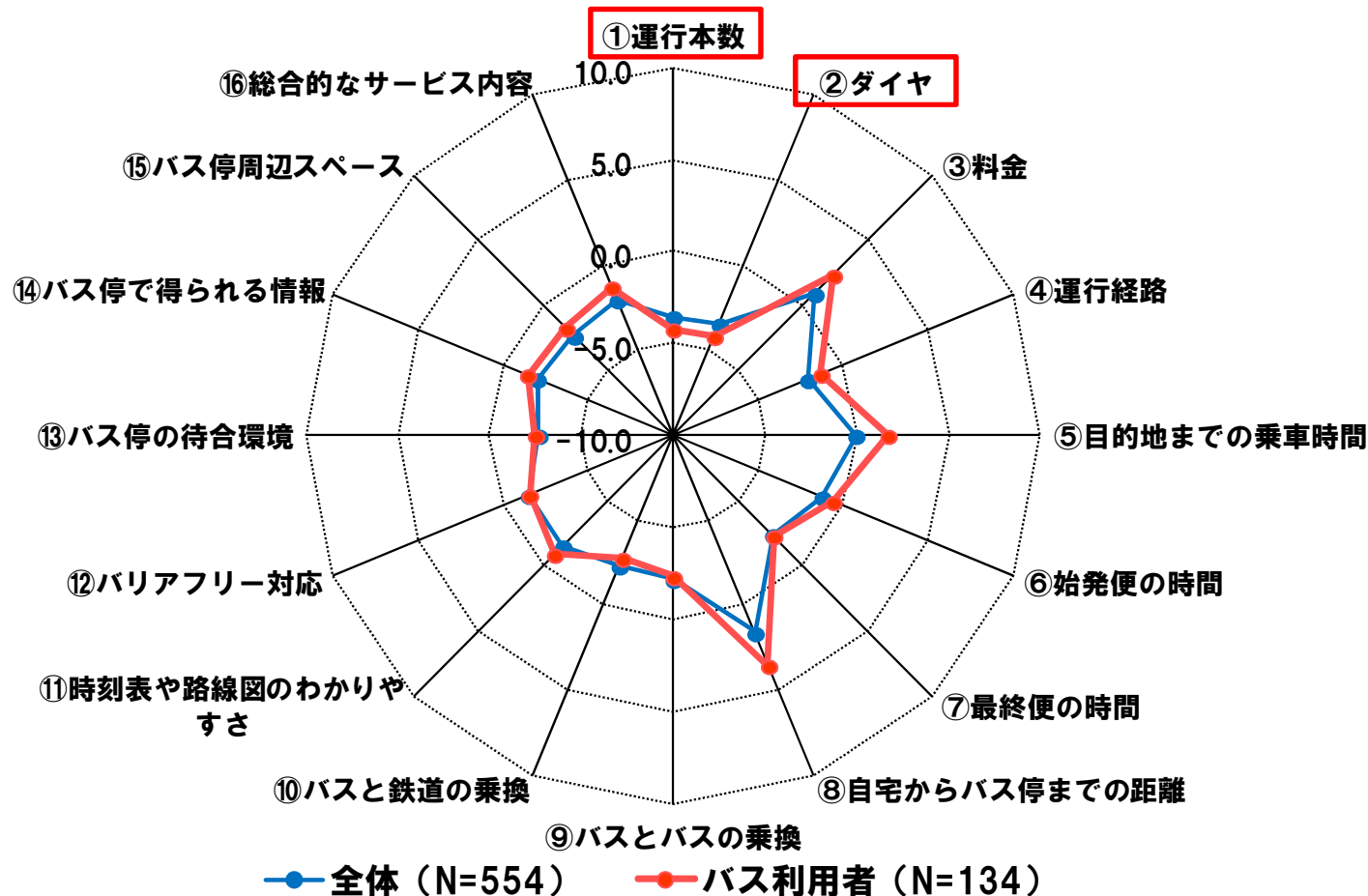
バス利用の有無と利用頻度



住民アンケート調査

18

バスサービスに対する満足度



満足10、やや満足5、どちらでもない0、やや不満-5、不満-10と設定し、加重平均により算出。
「満足」を選んだ人の数(回答数)をa、以下b.c.d.e.とすると、
満足度 = $(10a + 5b - 5d - 10e) / (a + b + c + d + e)$ となる。数値が高いほど満足度は高い。

住民アンケート調査結果

19

バスサービスに対する満足度

質問項目	西鶴山 (N=30)	香登 (N=25)	伊部 (N=102)	片上 (N=48)	伊里 (N=92)	東鶴山 (N=56)	三石 (N=44)	日生 (N=45)	寒河 (N=27)	吉永 (N=30)	神根 (N=21)	三国 (N=20)
①運行本数について	-3.3	-2.8	-4.7	-4.0	-4.0	-4.2	-2.6	-2.6	-3.3	-2.3	-3.6	-2.3
②ダイヤ(運行の時間帯)について	-3.5	-3.8	-4.1	-3.8	-3.9	-4.4	-2.6	-2.4	-3.7	-2.3	-3.1	-1.5
③料金について	-0.8	-0.6	-0.7	-0.7	1.4	1.8	3.0	1.4	0.2	1.8	3.1	2.5
④運行経路(行き先・経由地)について	-2.0	-3.4	-2.8	-2.1	-3.0	-3.0	-1.6	-0.8	-1.3	-1.2	-1.0	-0.3
⑤目的地までの乗車時間について	-1.7	-0.4	-1.6	0.3	0.5	-0.2	0.7	0.8	0.2	-0.3	2.1	0.5
⑥始発便の時間について	-1.8	-0.2	-2.4	-1.1	-1.2	-1.4	-0.5	-0.6	-2.6	-0.8	-1.2	0.5
⑦最終便の時間について	-2.0	-1.8	-3.4	-2.9	-3.0	-2.2	-1.4	-1.7	-3.3	-0.7	-2.4	0.0
⑧自宅からバス停までの距離について	-2.5	0.8	0.5	1.8	2.4	2.2	3.2	1.4	1.7	-0.3	5.2	3.5
⑨バスとバスとの乗り換えについて	-2.5	-2.0	-2.6	-2.1	-2.8	-2.1	-0.7	-2.8	-3.0	-0.7	-1.0	-2.3
⑩バスと鉄道との乗り換えについて	-1.8	-1.8	-2.8	-2.0	-3.6	-2.2	-1.6	-2.6	-2.8	-1.2	-2.4	-0.3
⑪時刻表や路線図のわかりやすさについて	-1.8	-1.4	-2.3	-1.4	-1.9	-2.4	-0.6	-0.6	-1.3	-0.8	-0.2	-0.8
⑫車両の段差などバリアフリー対応について	-2.3	-2.2	-2.2	-1.1	-2.1	-1.9	-1.5	0.2	-1.3	-0.3	-0.2	-0.8
⑬屋根や椅子などバス停の待合環境について	-3.5	-1.6	-2.9	-2.2	-3.2	-3.8	-2.6	-2.3	-3.0	-1.0	-2.9	-2.5
⑭時刻表のわかりやすさなど、バス停で得られる情報について	-2.3	-1.2	-2.2	-1.5	-2.6	-2.9	-1.7	-1.2	-2.0	-0.3	-3.3	-2.8
⑮自転車やシニアカーなどを停めるための、バス停周辺スペースについて	-2.8	-3.4	-3.2	-1.6	-2.0	-3.7	-2.0	-2.0	-3.0	-0.8	-2.9	0.3
⑯総合的な「バス」のサービス内容について	-2.5	-2.0	-2.7	-1.8	-2.6	-2.6	-1.6	-1.6	-1.1	-1.0	-2.4	-1.0

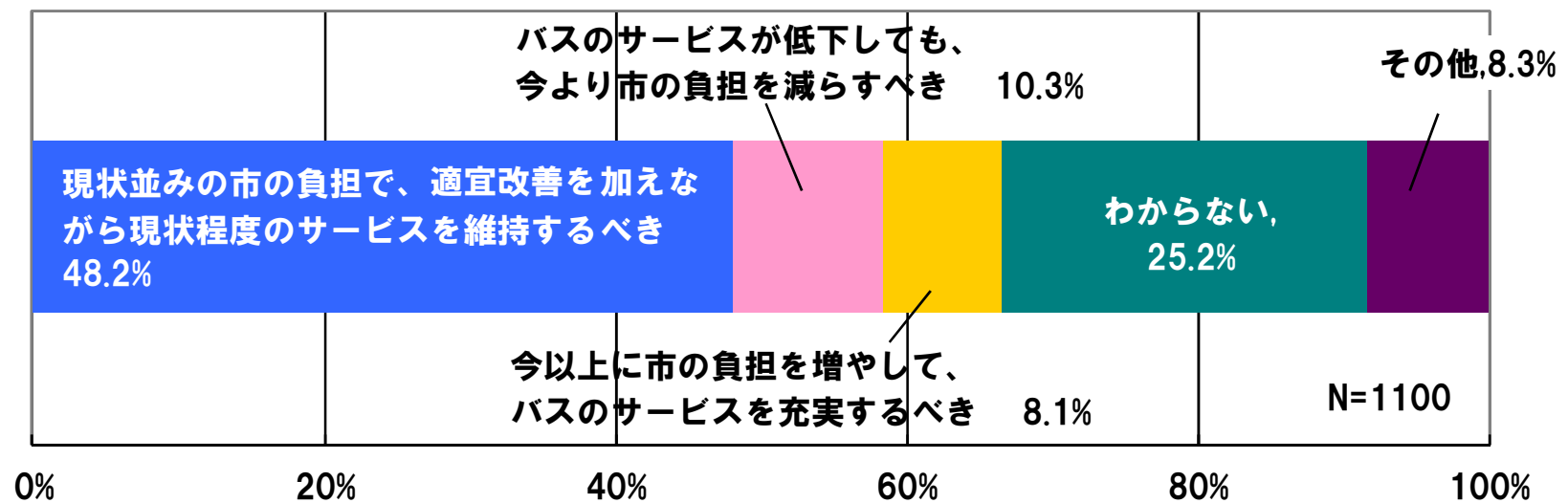
網掛け: 各地域で評価の1～2番に評価の低かった項目

住民アンケート調査

20

バスのサービス水準と経費負担について

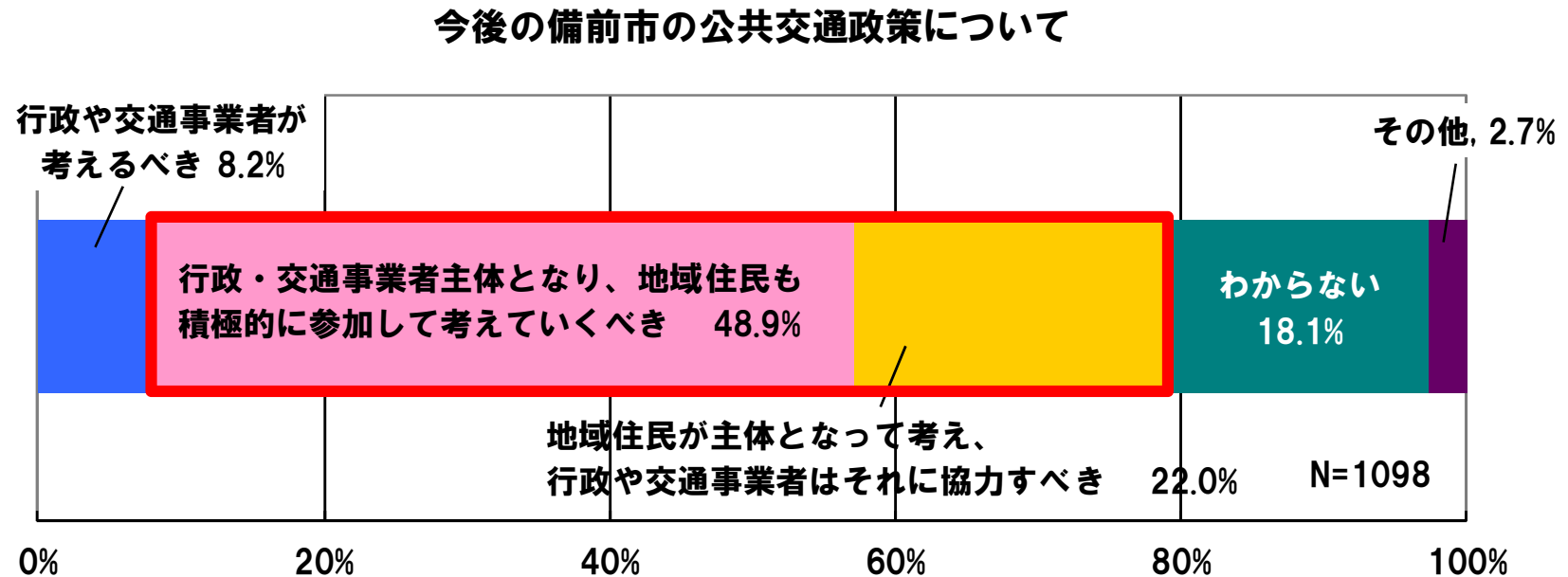
バスのサービス水準と経費負担について



住民アンケート調査

21

今後の備前市の公共交通政策について



住民アンケート調査

通院目的での移動ニーズ
(65歳以上の高齢者)

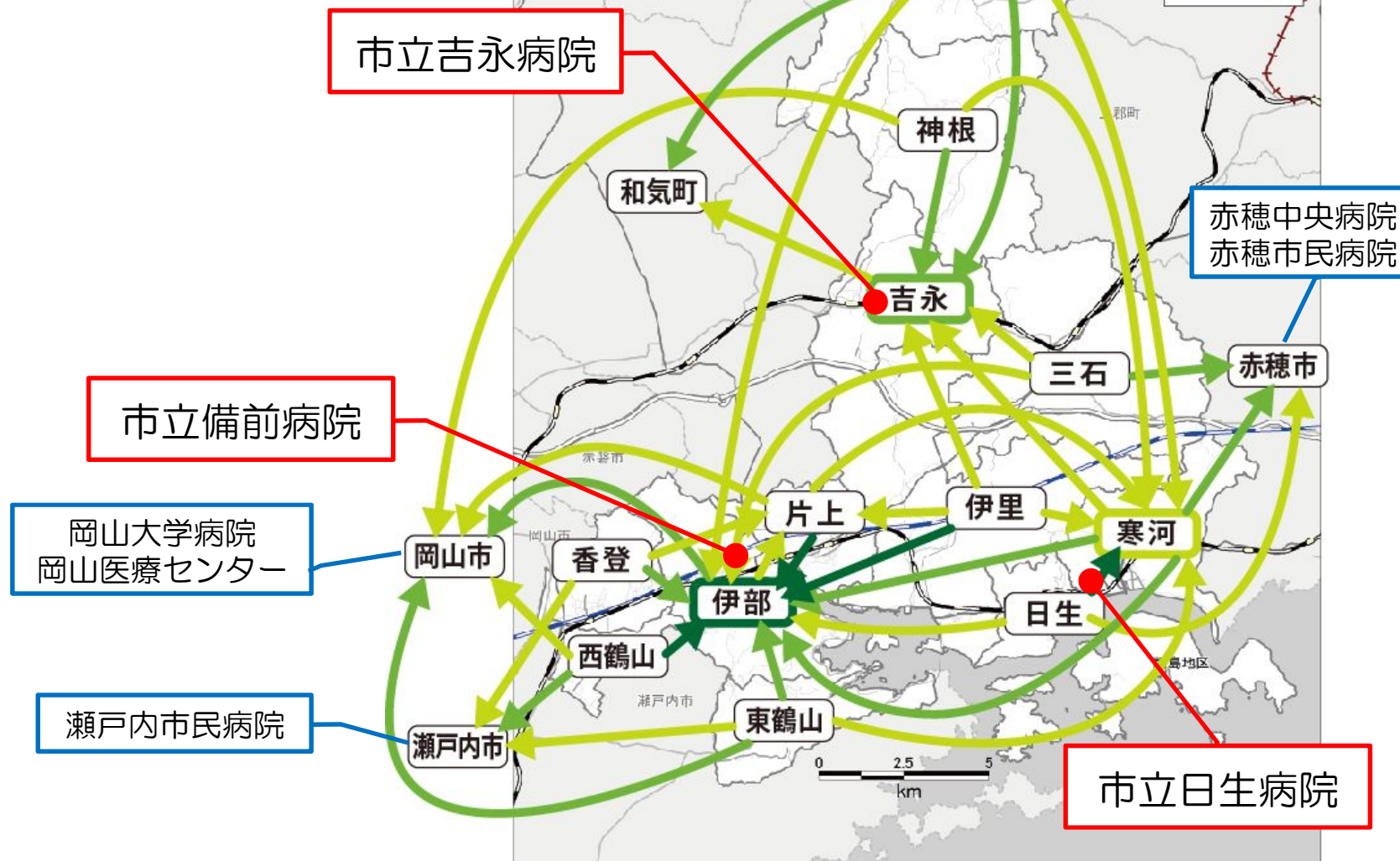
65歳以上の高齢者がバスで行きたい医療機関として

- 20%以上の回答者が指摘
- 40%以上の回答者が指摘
- 60%以上の回答者が指摘

※少なくとも1つ以上の施設を回答したサンプルの数を母数とした指摘率

《サンプル数》

片上: 27
伊里: 65
伊部: 52
東鶴山: 47
西鶴山: 18
香登: 19
三石: 31
日生: 27
寒河: 13
吉永: 22
神根: 30
三国: 24



住民アンケート調査

買物目的での移動ニーズ
(65歳以上の高齢者)

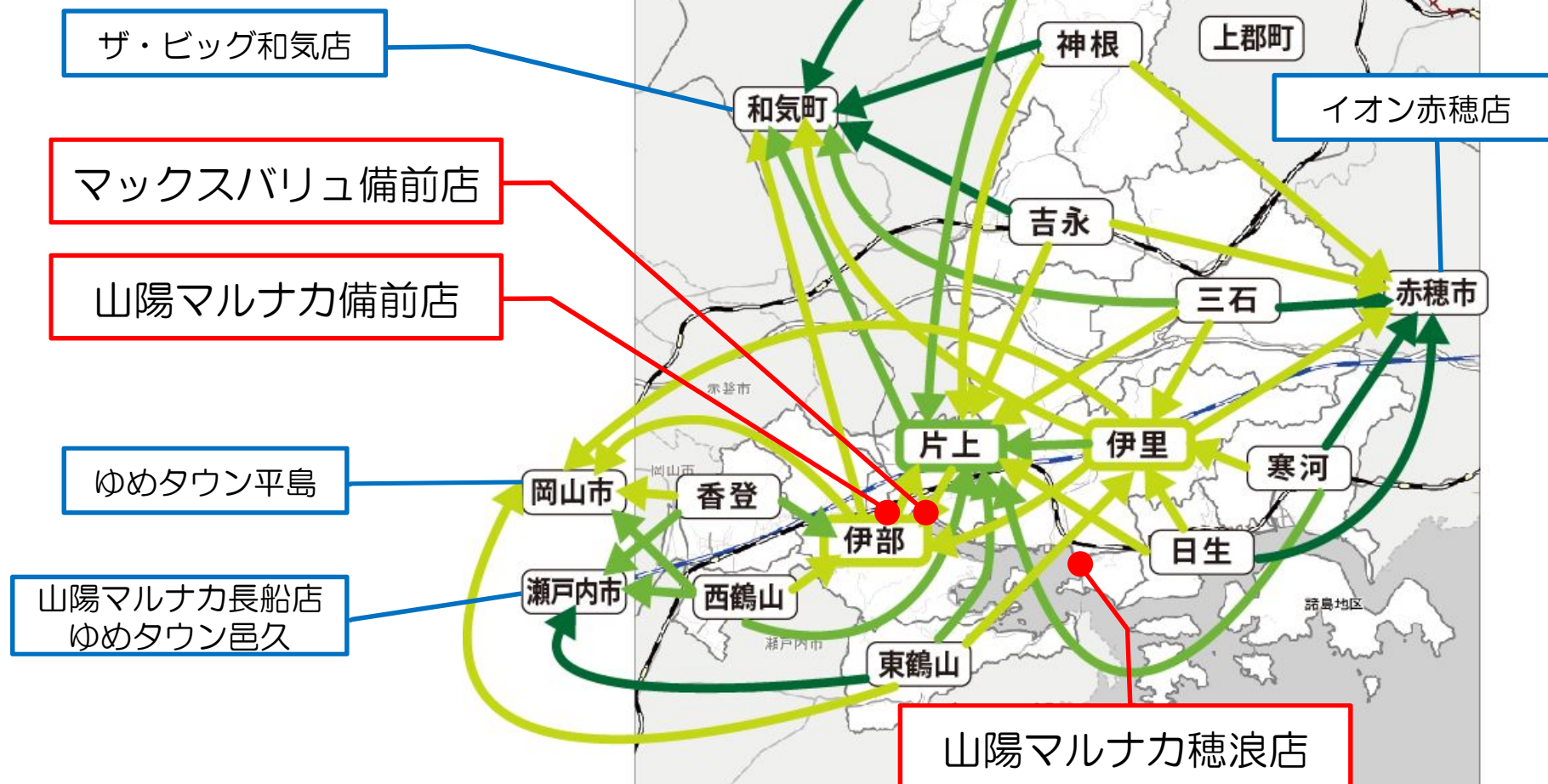
65歳以上の高齢者がバスで行きたい商業施設として

- 20%以上の回答者が指摘
- 40%以上の回答者が指摘
- 60%以上の回答者が指摘

※少なくとも1つ以上の施設を回答したサンプルの数を母数とした指摘率

《サンプル数》

片上	17
伊里	44
伊部	53
東鶴山	36
西鶴山	14
香登	15
三石	29
日生	16
寒河	9
吉永	23
神根	22
三国	17



民生委員アンケート調査

24

調 査 目 的	地域における公共交通の課題、今後の公共交通サービスに対する意向等を把握することを目的とする。各地区の実情を熟知した民生委員を対象に調査を実施することで、交通弱者を中心とした住民のニーズ、移動に関する課題等を詳細に把握する。
調 査 内 容	○担当地区 ○地区内高齢者などの移動について（交通手段や困っていることなどの自由記述） ○公共交通や移動に関する要望・意見（自由記述） ○地区内高齢者が普段利用する医療機関・商業施設
調 査 方 法	市内の民生委員112名に配布 郵送配布（一部の地区では会合で配布）・郵送回収
調 査 実 施 時 期	2012年9月19日（水） ～ 10月5日（金）
回 収 率	71.4%
回 収 票	○西鶴山4 ○香登6 ○伊部6 ○片上7 ○伊里14 ○東鶴山7 ○三石10 ○日生8 ○寒河5 ○諸島1 ○吉永7 ○神根2 ○三国3 ＜計80＞

民生委員アンケート調査

移動に関して困っていること・要望

- ・バス停まで遠い
- ・バスの便数が少ないので増やしてほしい
- ・バスのダイヤが合わない
- ・バスの乗継が不便
- ・乗り換えなしで病院に行きたい
- ・バスのダイヤが合わない

主要施設におけるヒアリング調査

調 査 目 的	住民アンケート調査、乗降調査では把握しきれない、高齢者や公共交通利用者の細かな意見、ニーズを拾い上げるため、商業施設や病院などの主要施設、路線結節点においてヒアリング調査を実施する。
調 査 内 容	○個人属性（住所・性別・年齢・世帯人数・職業・免許証保有） ○当日の移動について（交通手段・時間） ○普段の移動について（目的地・頻度・交通手段） ○バスサービスの評価 ○自由意見
調 査 方 法	商業施設や病院利用者に対し、調査票をもとに調査員がヒアリングを行う。 【調査場所】 ○市立備前病院 ○市立日生病院 ○市立吉永病院 ○片鉄片上バス停（マックスバリュ備前店前）
調 査 実 施 時 期	2012年9月26日（水）、9月27日（木）
回 収 票	○市立備前病院60 ○市立日生病院68 ○市立吉永病院80 ○片鉄片上バス停（マックスバリュ備前店前）65

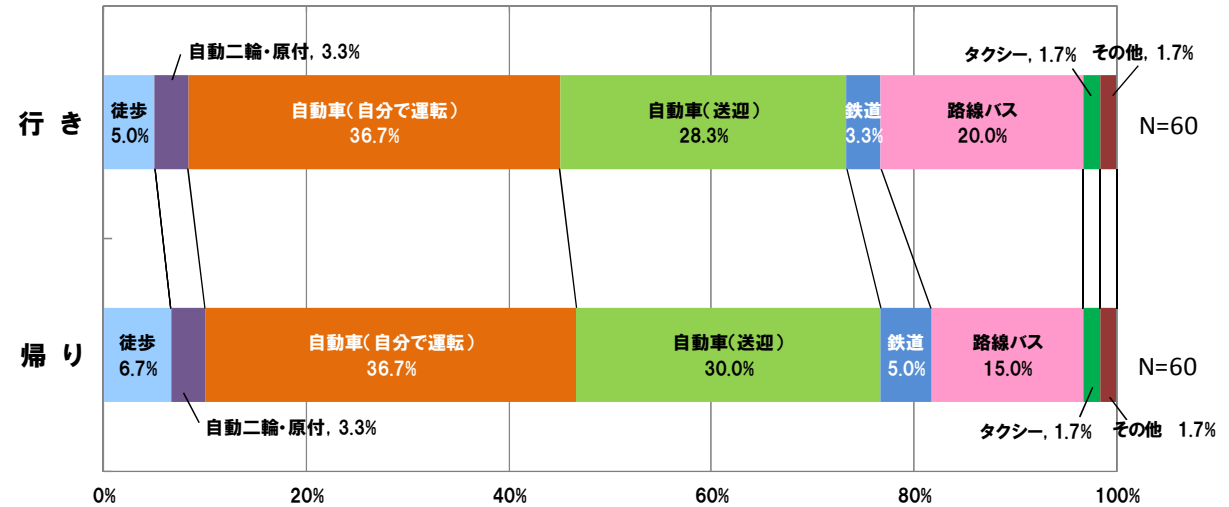


▲日生病院での調査の様子

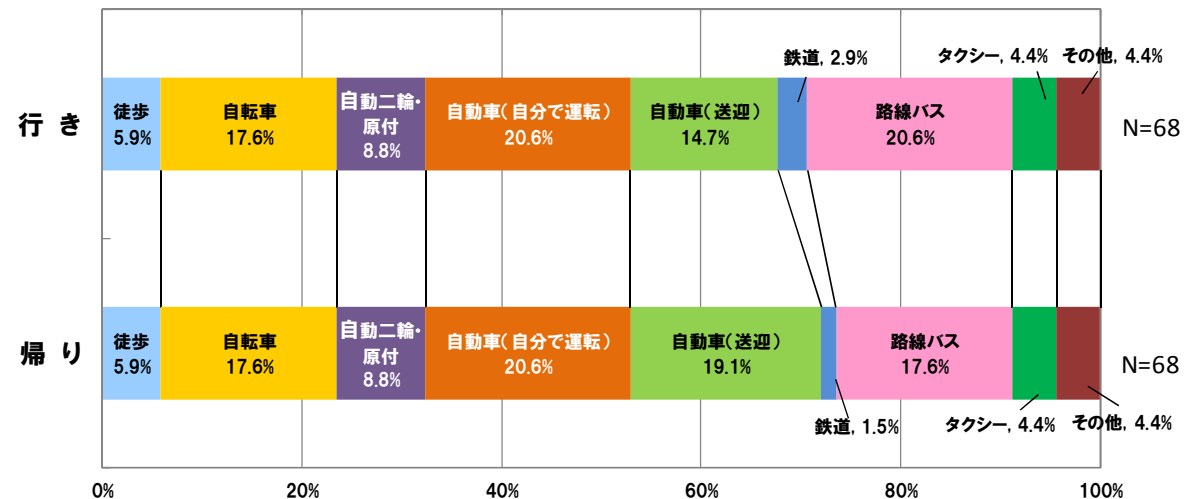
主要施設におけるヒアリング調査

施設までの交通手段

▼備前病院



▼日生病院

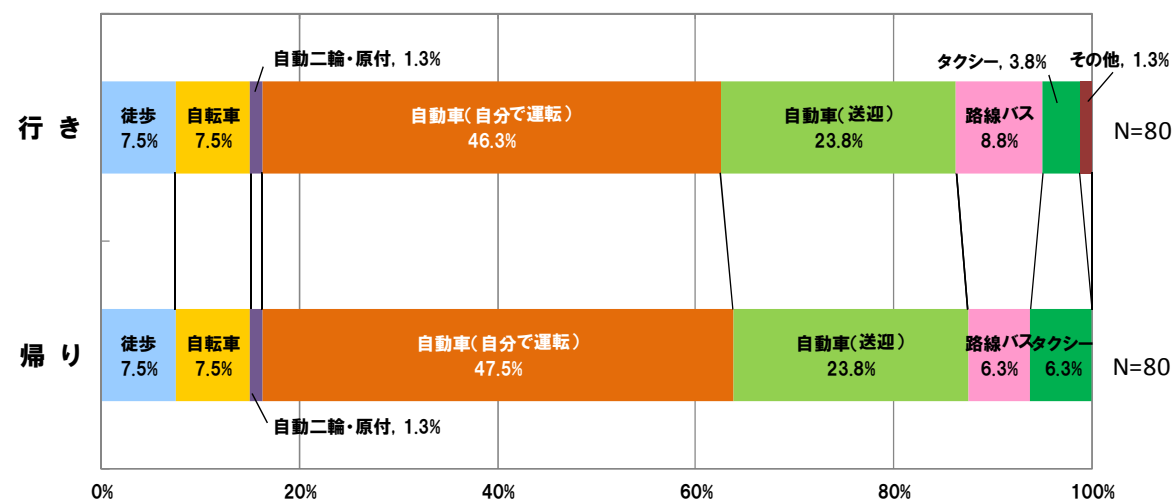


主要施設におけるヒアリング調査

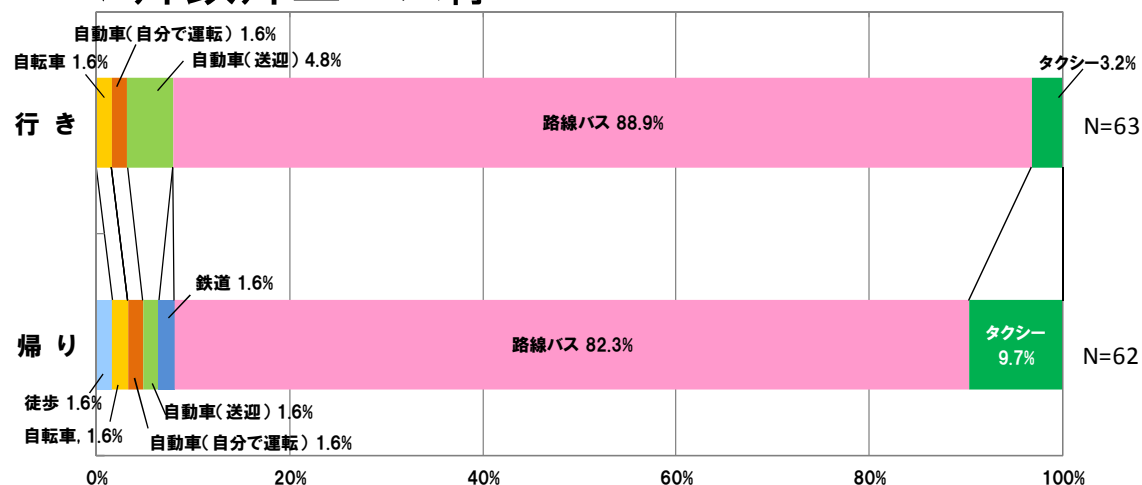
28

施設までの交通手段

▼吉永病院



▼片鉄片上バス停

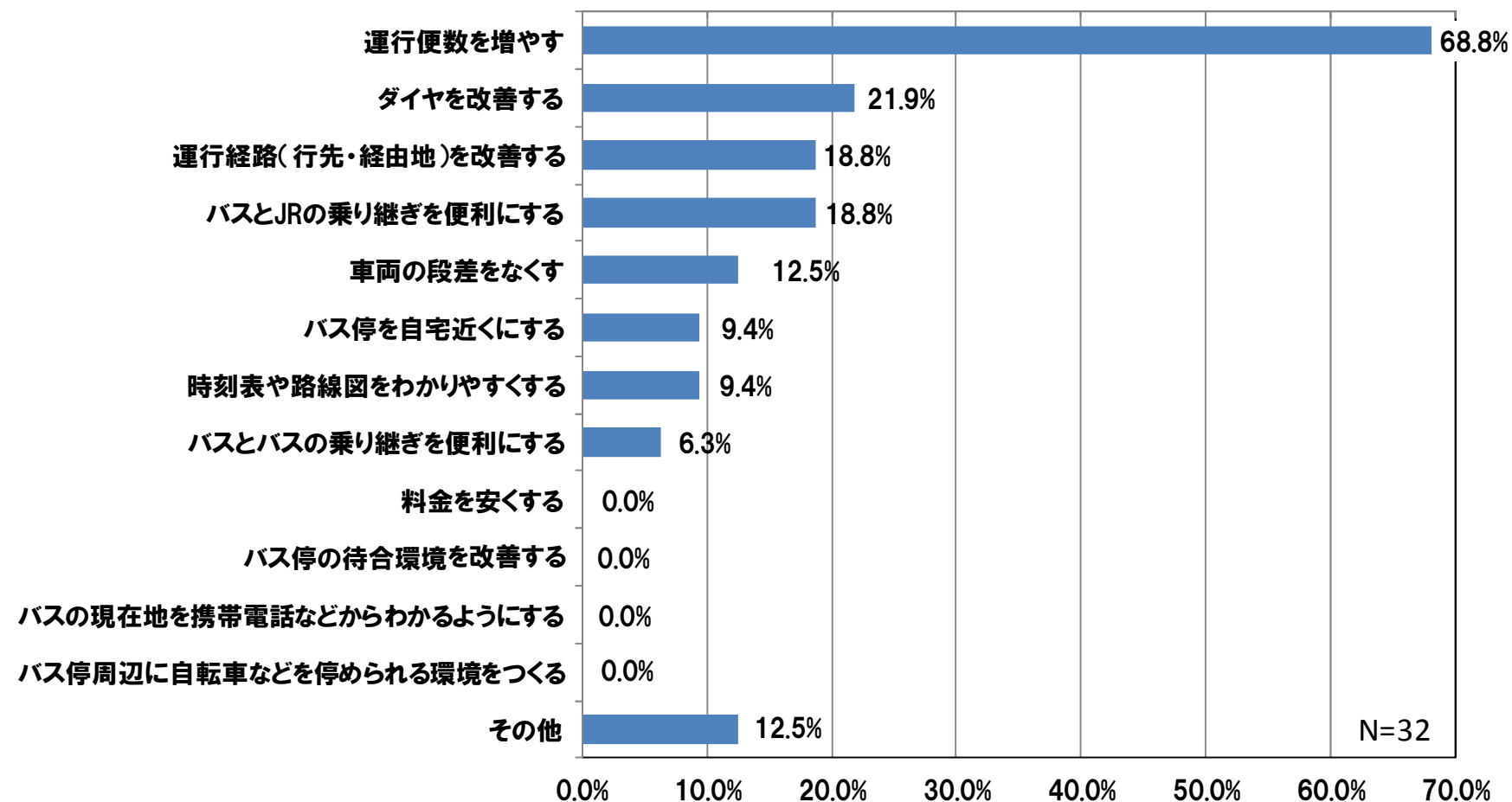


主要施設におけるヒアリング調査

29

バスサービスの改善点

※市立吉永病院でのヒアリング結果



高校生アンケート調査

30

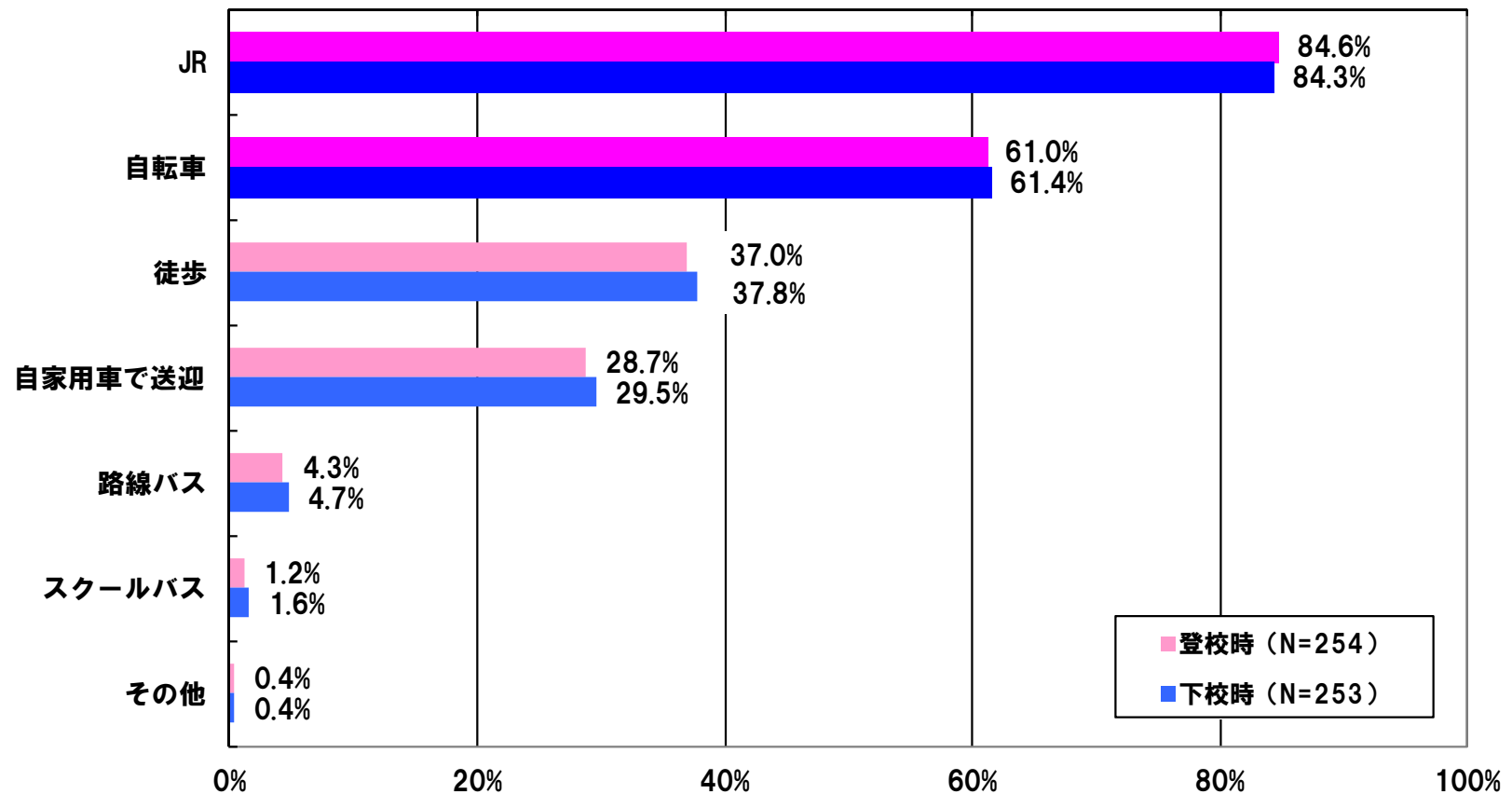
調 査 目 的	備前市内高校に通学する高校生および備前市に居住する高校生に対してアンケートを実施することで、生徒の通学におけるニーズ、公共交通の利用状況（利用意向）、自動車送迎の実態等を把握する。なお、設問は高校生本人とその保護者に対して実施する。
調 査 内 容	【生徒に対して】 ○ 個人属性（住所、部活動、帰宅時刻、世帯内の自動車保有等） ○ 自宅最寄りのバス停・ＪＲ駅 ○ 通学実態（登下校時の交通手段、立ち寄り状況、ＪＲ・バス利用状況） ○ バスサービスについて（始発便・最終便の意向、バスサービスの評価） ○ 通学以外での交通手段 ○ 自由意見 【保護者に対して】 ○ 送迎について（送迎実態、送迎理由、負担感） ○ 定期券について（現在の定期券購入状況、値段や割引等の変更による購入意向） ○ 自由意見
調 査 方 法	【調査対象】 ○ 備前市内：岡山県立備前緑陽高等学校・備前市立片上高等学校 ○ 備前市外：備前市に隣接する市町の高校で、備前市に居住する生徒の通学する高等学校 【実施手順】 学校を通じて配布・回収
調査実施時期	2012年9月24日（月）～10月1日（月）
回 収 率	○ 備前市内 53.9% ○ 備前市外 81.8%
回 収 票	備前市内2校（97名） 備前市外20校（164名）

高校生アンケート調査

31

登校時・下校時の移動手段（生徒回答）

登下校時の移動手段（複数選択）

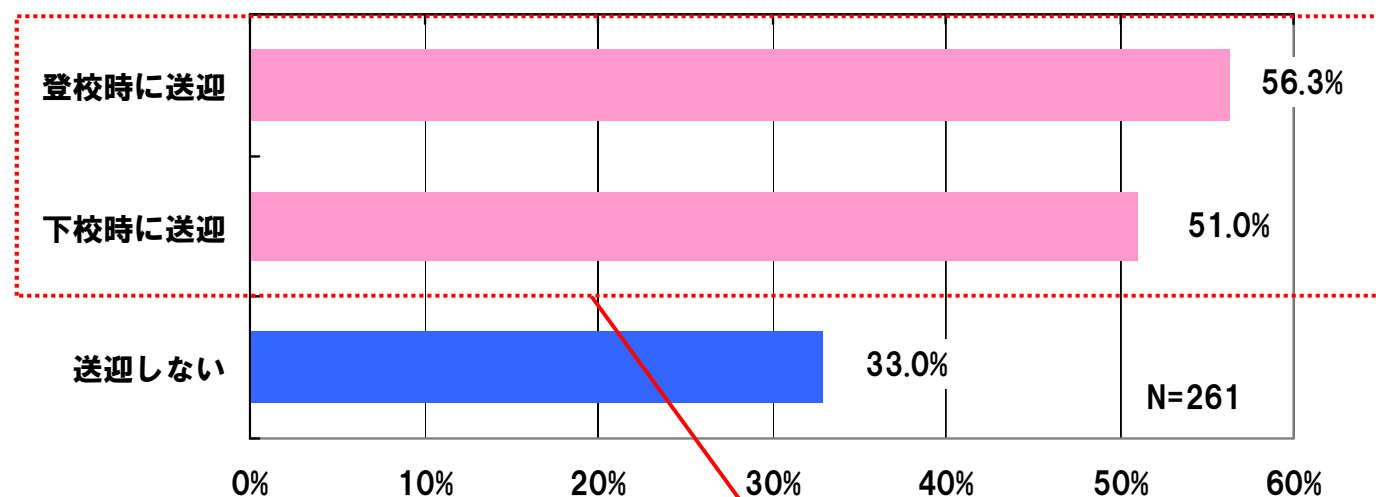


高校生アンケート調査

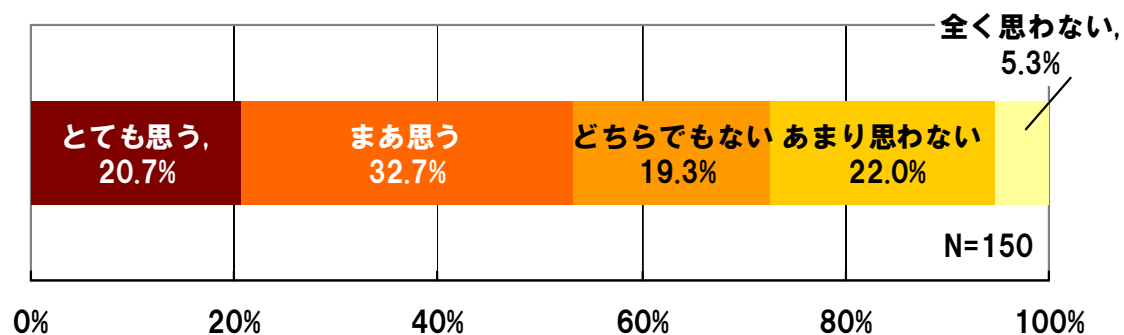
32

送迎について（保護者回答）

登下校時の送迎



マイカーでの送迎を負担に思うか？



関係者ヒアリング調査

33

調 査 目 的	公共交通による移動の主な目的地となる医療機関や商業施設の他、実際に公共交通を運行する交通事業者や、住民等の移動に深く関係する市の福祉部門や教育部門、観光に関する移動に関する観光協会等に対して実施する。
調 査 対 象	○バス事業者（2） ○航路事業者（5） ○鉄道事業者（1） ○タクシー事業者（6） ○商業施設（7） ○医療機関（5） ○庁内（4） ○福祉有償運送事業者（2） ○観光協会（3）
調 査 方 法	調査員が調査対象の関係者にヒアリングを実施（一部文章での回答）
調査実施時期	2012年9月 ～ 10月

関係者ヒアリング調査

調査結果の一例

バス事業者：利用のもっとも多い路線は、日生線。小学生などの通学利用の他、通勤で利用している人も見られる。

航路事業者：65歳以上は運賃が100円となることで、自家用船を手放し定期船を利用する高齢者が増えた。

鉄道事業者：観光面でのPRや通勤での利用など、公共交通利用促進に努めてほしい。

タクシー事業者：バスの再編等にあたっては、バスとタクシーが両立できるように考えてほしい。

関係者ヒアリング調査

調査結果の一例

商業施設：高齢者はほとんどが午前中に利用している。

医療機関：公共交通との連携については、要望があれば協力する。

福祉有償運送事業者：全般的に福祉有償移送サービス需要に対する供給が不足しているようである。

庁内：諸島地区では、架橋後の道路や駐車場整備について、整備計画やその実施時期が課題である。

観光協会：牡蠣のシーズンは、恒常的に渋滞するとともに、駐車場も十分でないため、この点について住民だけでなく、観光客の方も不満があると思う。